

ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西
自然保護機構
会誌

32巻1号(通算59号)

シンポジウム特集 信太山丘陵の保全と活用

森林学者 四手井綱英先生を悼む



2010年6月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

信太山湿地のトキソウ群落

写真・文 花田 茂義

信太山丘陵には小さな湿地が10数カ所点在している。それらは、貧栄養の湧水によって維持されている湧水涵養湿原と開けた谷底低地の放棄水田など栄養塩類を多く含む低層湿原に大別できる。トキソウは初夏の湧水涵養湿原を彩る代表種である。この湿地には、モウセンゴケ、コモウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなどの食虫植物が見られ、サギソウ、カキラン、スイラン、などが次々と咲く。民家から数メートルの裏庭ともいえる場所にあり、稀少植物の宝庫となっている。しかし、信太山丘陵内の湧水涵養湿原はつぎつぎと乾燥化がすすみ、その面積は縮小し、かつて棲息が確認できたハッチョウトンボもここ数年確認できないなど、生物相に変化もおきている。

写真：2009年5月26日撮影（トキソウ約50株の群落が見られた）

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。